

平成29年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例

〈校訓〉 賢く 優しく 遅しく



佐世保市立広田中学校

校長 山口 政則

生徒数 469名

(特別支援学級：2学級含む)

所在地 佐世保市重尾町188



1 学校経営グランドデザイン

平成29年度学校経営グランドデザイン

佐世保市立広田中学校

校訓【 賢く 優しく 遅しく 】

社会的背景
保護者・地域の願い
生徒の実態

学校教育目標
「我が広田を
誇りに思う生徒の育成」

憲法 教育法規
学習指導要領
県・市教育方針

めざす学校像

- 【ひ】 広く知られる学校
- 【ろ】 ロマンあふれる学校
- 【た】 他者を大切にできる学校

めざす生徒像（校訓から）

- 【ひ】 広く英知を求め学ぶ生徒 【賢く】
- 【ろ】 労を惜しまず、他者に優しく接する生徒 【優しく】
- 【た】 耐える心を持ち、常に前進する生徒 【遅しく】

めざす教師像

- 【ひ】 日々研鑽に励む教師
- 【ろ】 論よりも実践する教師
- 【た】 タイミングを逸することなく、適切な指導ができる教師

【豊かな心の育成】

- ・一徳運動の推進
- 生 徒・・・「お先にあいさつ」
- 教職員・・・「あいさつに一声添えて」

【確かな学力の定着】

- ・教科チームとしての連携
- ・3つの「わ」を意識した授業実践
- ・互見授業の推進

【健やかな体の育成】

- ・健康教育の推進
- ・部活動への積極的参加
- ・食育の推進

【本年度重点目標】

「確かな学力を保障できる授業の創造」～教科チームを生かした授業力向上～

具体的実践

- (1) 無理のない研究授業の推進
 - ・積極的な互見授業の展開 → いつでも誰でも互いに参観
 - ・指導案不要（授業の中で「ねらい」を明確に）
- (2) 教科チームとしての連携
 - 急な年休等における代教は同一教科の教師で → 授業を進めることも可
- (3) 授業交換
 - 固定学級に限らず学級を交換して授業を行う → 生徒の反応で自己を評価できる
- (4) 3つの「わ」を意識した授業の実践
 - 「わ・・・分かる授業 わ・・・わくわくする授業 わ・・・笑いのある授業」
- (5) 他校に学ぶ
 - ①市教育研究部会における研究授業を本校で進んで受ける。
 - ②他校の優秀な教員の授業に学ぶ。
 - 他校に出向き参観させてもらう。他校から講師として招聘する。
- (6) 初任研修、若手研修、10年、15・20年研修を全体で生かす
 - ①初任研、若手研に全職員で関わり育てる。
 - ②10年・15・20年研修を生かし互いの技能向上を図る。
- (7) テストの結果で指導の成果を計る
 - 平均「60点」を想定したテストの作成
 - ①問題作成は教科チームで検討して実施
 - ②60点未満 → 指導不十分 → 改善策を講じる

2 実践内容

(1)「広田中といえば…」学校づくり

① 学校カレンダー作成、配布

学校年間行事をカレンダーにして、各家庭や地域に配布した。
保護者や地域からも学校の予定が事前にわかると好評であった。

学校カレンダー



② のぼり旗、横断幕の作成

校内入口や玄関前、体育館前に学校のシンボルとしてのぼり旗を、
体育館内に横断幕を設置した。本校の雰囲気明るくし、各種行事や
部活動の大会等へも持参し、学校の特色として定着した。

のぼり旗



③ 「校訓マスコットキャラクター」による徳育推進活動 かしこ君 やさしちゃん たくましくん



横断幕



小6 歓迎式

広ちゃんズ

校訓「賢く・優しく・逞しく」を身近に感じさせるために着ぐるみを活用し、各種行事やイベント
へ参加し、本校教育活動のアピールと徳育推進活動を実践した。

〈実践例1〉

12/17(日) 13:00～16:00に親和銀行本店前でJRC(青少年赤十字)と本校生徒会
が協力し、NHK海外たすけあい募金活動を行った。校訓マスコット「広ちゃんズ」も参加し、オリ
ジナル風船を配布して街頭募金をした。当日は、買い物帰りの地域の方々から多くの義援金をいた
だき、青少年赤十字へ送金した。

NHK海外たすけあい募金のようす



〈実践例 2〉

2月2日（金）に暴排タオル贈呈式があり、早岐警察署の方が来校され贈呈式に3年生代表と校訓キャラクター「広ちゃんズ」が参加した。生徒代表が暴力追放の決意を表明し、記念のタオルをいただいた。

暴排タオル贈呈式の様子



④ オリジナル風船の製作、生徒会ウィンドブレーカー、キャラクターメンテナンス

徳育推進活動の啓発として校訓キャラクター入りの風船を製作し、各種行事やイベントで配布した。また、生徒会ウィンドブレーカーを製作し、生徒会活動の活性化を図った。マスコットキャラクターの着ぐるみのメンテナンスとして校訓キャラクター活動後のメンテナンス（クリーニング・縫製）を行った。

オリジナル風船



生徒会ウィンドブレーカー



（2）講師招聘による講演会及び講話

① いのちを見つめる強調月間（本校体育館）

6月22日（木）5、6校時

5校時 一斉道徳授業 保護者（120名参加）

6校時 メディア講習会 保護者（100名参加）

【内容】

道徳授業では、命の尊さ等について考えた。メディア講演会では、携帯電話のメールやSNSの利用の仕方を学んだ。

メディア講習会



② 2年性教育セミナー（本校体育館）、3年デートDV防止教室

2年生 11月20日（月）14:15～16:05

講師：朝永ゆかり氏（長崎県看護協会助産師職能委員）

演題：「大切にしよう 思春期の心と体」

3年生 7月19日（火）14:15～16:05

講師：NPO 法人 DV 防止ながさき 岳村由美子氏

2年生性教育セミナー



【内容】

○性教育セミナー…二次性徴、命のはじまり、妊娠のしくみ、お産の方法、思春期の性、性感染症などの性の問題を抱える若者の現状について体験型での講話

○デートDV防止教室…非暴力、対等な男女関係のあり方についての講話

③ 薬物乱用防止教室（本校体育館）

11月22日（水） 14:15～16:05 3年生対象

講師：清水 昭英 氏（長崎県警察スクールサポーター）

【内容】

危険ドラッグ等を含めた薬物の有害性や危険性、乱用の実態を理解するとともに、その防止対策を知ることにより、薬物乱用に対する危機意識を高め、決して使用しない、絶対に許さないという強い意志を育てた。

薬物乱用防止教室



④ 人権集会（本校体育館）

12月 1日（金） 14:15～16:05

全生徒、保護者対象（15名参加）

講師「Take it! 虹」代表 儀間由里香 氏

12月 6日（水） 14:15～16:05

全生徒、保護者対象（10名参加）

講師「くまもと障害者労働センター」代表 倉田 哲也 氏

人権集会



【内容】

様々な立場の講師のお話から、差別やいじめの問題を自分自身の問題として捉え、友達や命の大切さについて深く考える機会とした。

（３）地域との連携

広田中学校区青少年健全育成会や広田地区生涯学習推進会が主催する行事に参加して、地域の教育力を生かす取組を実施している。

- 空き缶回収キャンペーン（７月９日）：雨天のため中止
- 地区交流球技大会（７月３０日）：生徒約１５０名参加
- ふるさと史跡めぐり（１０月２２日）：生徒約２００名参加
- 広田ふるさと祭り（１１月３日）：吹奏楽部（３５名）出演
書道と絵画を展示
- 鬼火だき（１月７日）：生徒約２００名参加

鬼火炊き



ふるさと史跡めぐり



ふるさと歴史発見学習（無窮洞）

（４）総合的な学習の時間

〔１年生〕ふるさと歴史発見学習 １１月 ６日（月）

８：４０～１２：２０

【内容】

宮地区、三川内地区、早岐地区、江上・針尾地区のコースに分かれて、郷土の歴史や文化に対する理解や郷土に対する誇りと愛情を育てるとともに、ふるさと佐世保の発展を願う態度を培った。

〔２年生〕職場体験学習（５０事業所）

１０月２５日（水）～１０月２７日（金）

【内容】

事前に生徒が事業所に電話連絡を行い、事前打合せの日時を決めたり訪問して打ち合わせをしたりすることで、事前連絡の仕方などを学習する。３日間の職場体験学習を行うことで、働くことの意義、働くことの素晴らしさや大変さ、様々な方々とのふれあいなど、多くのことを学んだ。また、表現力を培うために発表会を行い、プレゼン等によるまとめや自己表現力を高めた。



職場体験学習



（５）校内研修の充実

研究テーマを「小中一貫型教育の充実を目ざして」～小中のつながりをいかした教育活動～と設定し、小中一貫型教育の特性を生かし、分かる授業・わくわくする授業・笑いのある授業を実践し、互見授業の推進や佐世保市教育委員会指定学力向上授業研修を中心とした研究授業を実施して教師の授業力向上を図ることができた。また、本年度からの小中一貫型教育や経過について各部会別に共通理解を行い、成果と課題を明らかにして次年度の準備を行った。授業研究以外に食物アレルギーへの対応についても研修を行いエビペンの使用方法や緊急時の対応について理解を深めた。

① 校内研修テーマの確認、実践に向けての計画（５月）

② 小中一貫型教育経過の共通理解（８月）

小中全職員が８部会に分かれて小中一貫型教育の経過や実践について共通理解し、成果と課題の確認を行った。

③ 佐世保市教育委員会指定学力向上提案授業（６月、１月）

学力向上提案授業（国語科）

